

群馬県難病団体連絡協議会内
TEL 090-1111-7080
FAX 027-232-5323

背骨の病気で

お悩みの患者様へ

2024年度版

毎日が笑顔で送れますように



群馬県脊柱靱帯骨化症友の会

事務局 前橋市新前橋町13-12
群馬県社会福祉総合センター4F

患者会の紹介

突然、医師から「あなたの病気は難病で、後縦靭帯骨化症という病気です」と告げられ、驚き目の前が暗くなった経験をお持ちの方もいらっしゃると思います。

私たち「群馬県脊柱靭帯骨化症友の会（略称・群馬脊柱友の会）」は、2005年（平成17年）に患者・家族で、日本脊椎脊髄病学会認定指導医の先生や、県内の難病・慢性疾患・小児慢性疾患などの患者会で組織された群馬県難病団体連絡協議会、全国脊柱靭帯骨化症患者家族連絡協議会の援助を受け発足しました。

自分の病気を正しく理解するために医療講演会を開いたり、患者同士で困っていることや悩んでいることを話し合い励まし合うための

患者家族交流会を行っています。

さらに、病気の原因や治療方法が一日も早く確立するように、国や県に働きかけを行っています。

ひとりで悩まないで、お互いに手を取り合っ
て「笑顔の毎日が送れるように」、ともに病気に立ち向かおうではありませんか。

あなたの入会を心から歓迎いたします。

・会費 年3,000円（減免措置もあります）

・事業 医療講演会（年1回）

患者家族交流会（年1～2回）

会報発行（年2～3回）

患者相談（随時）

病気関連の書籍紹介 など



難病患者の悩みや相談を、
難病患者の仲間が親身に応じます

「群馬脊柱友の会」相談室

《相談員》

町田 毅 TEL 090-1111-7080

（10時～20時の間）

遠藤 善久 TEL 0274-24-6582

（18時～20時の間）

松原 泰子 TEL 0274-23-4622

（18時～20時の間）

○お名前は言わなくても、
相談に応じます。

○個人の秘密は厳守します。



2024年度事業のご案内

医療講演会開催のお知らせ

演題 背骨の難病の症状と治療のお話

講師 伊勢崎市民病院 整形外科
診療部長 飯塚 伯 先生

日時 2025年2月8日（土）
13時30分開会

会場 前橋市総合福祉会館
前橋市日吉町2-17-10
2F 社会適応訓練室

※参加無料です。

背骨の病気の症状と治療

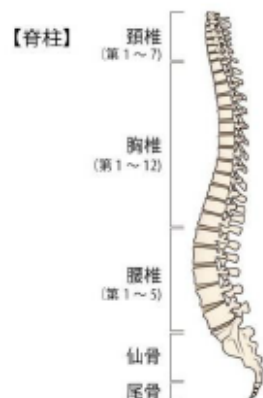
《脊椎と脊髓》

脊柱とは首の骨（頸椎）～背中の骨（胸椎）～腰の骨（腰椎）～骨盤の真ん中の骨（仙骨）をひとまとめにした名称です。一般には首の骨が7個、背骨の骨が12個、腰の骨が5個あり、これら一つひとつの骨（これを脊椎と言います）を椎間板という軟骨の板が連結して“脊柱”という背中の柱を形成し、頭と骨盤をつないでいます。

この脊柱の中に脊柱管と呼ばれる長いトンネルが存在し、そのトンネルの甲を“脊髓”という大事な中枢神経が通っています。

脊髓は、脳の出した命令を手足に信号として伝えたり、手足に与えられた様々な刺激を脳に伝えたりする重要な機能を果たしています。つまり、“脳”を発電所に例えるならば“脊髓は変電所と送電線”のような役割をしていることになります。ですから、脊髓が正常に機能しないと日常生活に大きな支障をきたすことになるのです。

一方、脊柱はこの大きな脊髓というもろくて柔らかい神経を保護し、かつ自身も曲がったり反ったり出来る「守って動ける高機能建造物」です。動いても簡単にずれたりしないように、



脊柱全体を各種の靭帯（いわゆるスジ）がしっかりした構造を保っているのです。

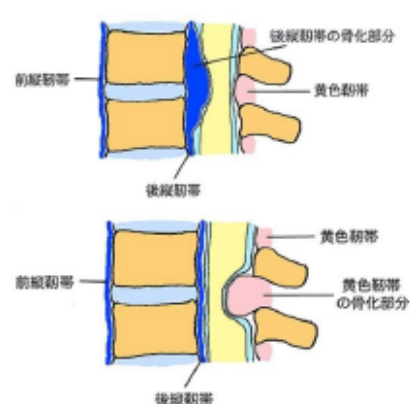
《後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症》

まれにこの靭帯が骨に変化して（骨化）しまう病気が起こります。

これが脊柱靭帯骨化症というわけです。

この骨に変化した靭帯（骨化靭帯）が脊髓を圧迫してしまうことがあり、問題となります。

特に脊髓のすぐ前方にある後縦靭帯と靭帯のすぐ後ろに存在する黄色靭帯が骨化すると、



が生じやすく、手足の自由が利かなくなったり、不眠なしひれを感じたり、排尿障害を生じたりすることになります。

治療法としては、保存療法と手術療法があります。保存方法は骨化により圧迫されている神経を保護することが主目的で、頸椎の外固定装具を装着します。首を後ろに反らせる姿勢は避ける必要があります。

症状が強い場合は手術療法となり、骨化の状

態や部位に応じて様々な方法があります。頸椎では神経の圧迫を取るため骨化部位を摘出して、その部位を自分の骨で固定する前方と、

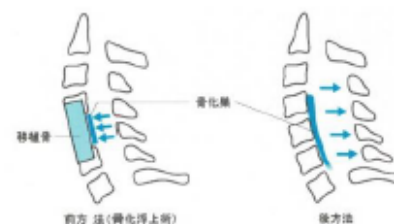


図2 前方法と後方法

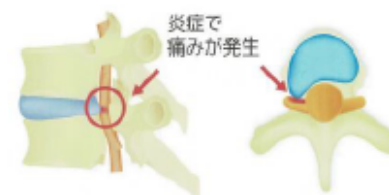
後方法があります。

胸椎では、背骨が丸くなっているため、後方法で脊柱管を拡げるだけではなく、ボルトなどを用いて固定を加える手術が多くなっていますが、前方法が選択されることもあります。

腰椎では後方法が一般的です。

《広範脊柱管狭窄症》

広範脊柱管狭窄症とは頸椎、胸椎、腰椎の広範囲にわたり脊柱管が狭くなり、脊髓神経の障害を引き起こす病気です。頸椎部、胸椎部または腰



椎部のうち、いずれか2ヶ所以上の脊柱管狭小化による神経症状により日常生活

が大きく影響されることが診断の条件です。頸椎と胸椎の移行部と腰椎の移行部のいずれか1ヶ所だけの狭小化は除かれます。